



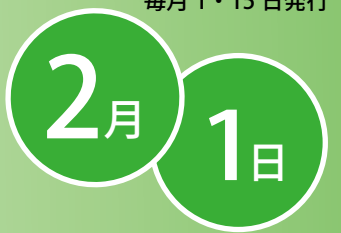
平成25年5月1日 市制施行50周年

広報

いちはら

編集・発行
市原市役所企画部広報広聴課
〒290-8501 市原市国分寺台中央 1-1-1
☎ 0436-22-1111(大代表)
URL http://www.city.ichihara.chiba.jp/

2013年(平成25年) 1385号
毎月1・15日発行



主な内容
消防団員を募集……………2
春のサイクリングイベントなど……………3
税金特集……………4・5
情報ページ 市民農園の利用者を募集、急病診療
案内、相談案内など……………6・7
この街あの人この人 高橋章雄さん……………8

全国へ広がる『姉崎だいこん』



日本農業賞特別賞
『JA市原市姉崎蔬菜組合』



収穫した自慢のダイコンを手にする若手後継者と姉崎だいこんの生産者の皆さん(深城)

共同洗浄選別施設の選別により高品質を維持

『姉崎だいこん』の出荷が最盛期を迎えています。『姉崎だいこん』とは『JA市原市姉崎集出荷場』で洗浄・選別・出荷されたダイコンのことをいいます。

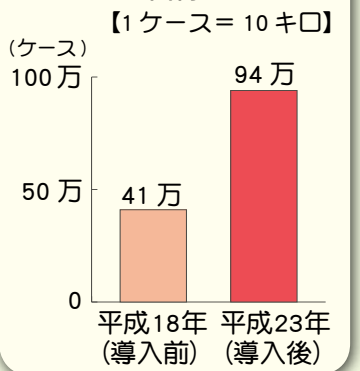
生産者は、毎朝泥付きのダイコンを集出荷場に持ち込みます。持ち込まれたダイコンは、平成19年に導入された共同洗浄選別施設により洗浄や梱包などを行います。作業時間の大半を占めていた洗浄や選別

などを機械化したことにより、品質向上効果に加え、生産者は栽培に専念することができるようになりました。年々出荷量は増大し(右図参照)、平成24年産(24年10月~25年6月)は、100万ケースを超える出荷量を見込んでいます。施設の導入を起爆剤に高齢化が進む産地の立て直しに取り組んだのが、17人の組合員で組織する『JA市原市姉崎蔬菜組合』です。同組合では5人

の若手後継者が育っています。また同組合は、1月25日に日本放送協会(NHK)と全国農協中央会などが主催する日本農業賞(団体組織の部)特別賞に選ばれました。若手後継者の泉水良仁さん(深城)は「ダイコンの鮮度を大事にしています」と話します。『姉崎だいこん』は市場を通じて全国に流通しています。

問合せ 農林業振興課 ☎ 4187

共同洗浄選別施設導入前後のダイコン出荷量



市民活動団体を紹介(35) 『椎津川上流域を美しくする会』



菜の花が咲く春の椎津川

私たちは、椎津川の改修により整備された水辺空間を生き、平成17年からアネッサの対岸にある河川敷でコスモスと菜の花を栽培しています。モットーは『仲良く、楽しく、無理なく』です。今後は、より多くの参加者を得て、私たちの手で椎津川を『憩える場所』にしたいです。(代表 佐久間光さん)

問合せ NPO・ボランティア支援室 ☎ 9998

とこので市役所では、全庁一丸となって予算づくりに取り組んできたところです。みんなで知恵を出し合い、新年度、どのようなまちづくりを進めていくかを決める、大切な仕事です。

市長 佐久間隆義

この時期私は、さまざまな行事に出席する機会があり、たくさん元気な笑顔に出会えることを楽しみにしています。過去最多のランナーが参加した高滝湖マラソンは、地域の皆さんの協力和スタッフのご尽力により、大変な盛り上がりを見せました。小学4年生から80歳を超える方まで、参加者はとにかく皆元気いっぱい。私は、こうしたさまざまな世代が交流する活力あふれる取り組みを全市に広げていきたいと考えています。

笑顔あふれるまちを
そろそろ梅の花ほころぶ季節となりましたが、まだまだ寒い日が続きます。適度な運動と睡眠を心掛け、元気に楽しくお過ごしください。



ちびっ子ランナーを激励

このまちを

(98)

今月の市民課窓口の日曜開設日 3日、17日(8:30~17:00)
今月の納付 固定資産税・都市計画税(4期)、国民健康保険料(9期)、後期高齢者医療保険料(8期)、介護保険料(8期)

市原市の人口・世帯数 282,400人(-187人) 男:144,941人(-128人) 女:137,459人(-59人)
世帯数:119,805世帯(-45世帯) 転入606人・転出744人・出生164人・死亡213人/12月
※データは平成25年1月1日現在、()内前月比